

# 佐賀県の地震活動概況 (2024年9月)

令和6年10月10日  
佐賀地方気象台

## 【9月の地震活動概況】

9月に佐賀県内で震度1以上を観測した地震は4回(下図領域を含む)でした(8月は4回)。

※Nは領域内の地震数を示しています。以下同じ。

N=359

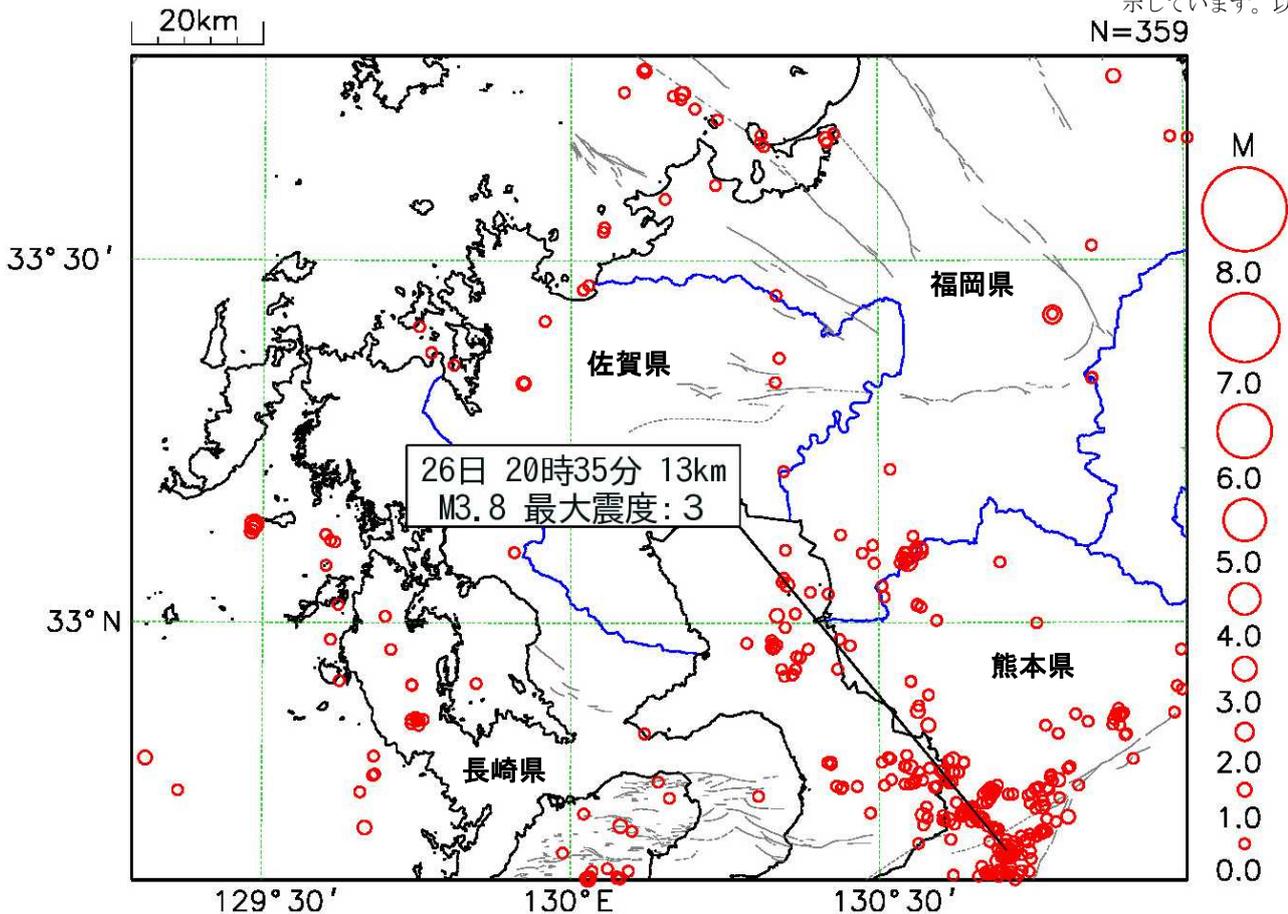


図1 震央分布図(2024年9月1日~30日、深さ30km以浅、M≥0.0)  
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

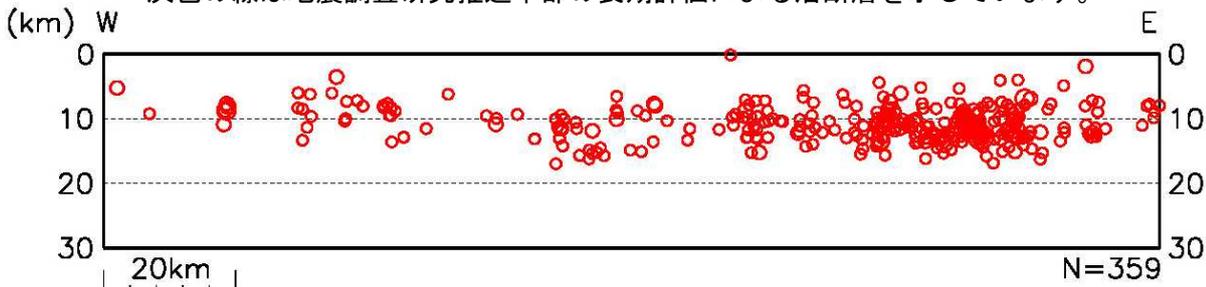


図2 断面図(2024年9月1日~30日、深さ30km以浅)  
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

### 種子島南東沖（1 頁震央分布図領域外）

14 日 08 時 03 分に種子島南東沖で M5.7 の地震が発生し、鹿児島県の肝付町、錦江町などで震度 3 を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方で震度 2～1 を観測しました。佐賀県では、上峰町で震度 1 を観測しました（図 3、表 1）。

今回の地震の震央付近（図 4 領域 a）で発生した地震により佐賀県で震度 1 以上を観測したのは、地方公共団体（佐賀県）の震度データの活用を開始した 2001 年 3 月 22 日以降では今回が初めてです（図 4～図 5）。

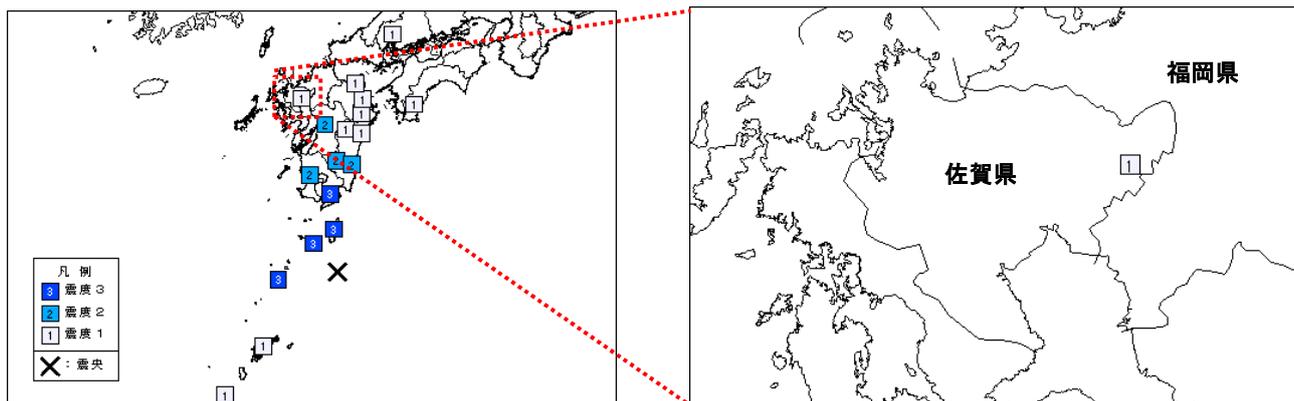


図 3 震度分布図 14 日 08 時 03 分 M5.7  
(左図は地域別、右図は観測点別)

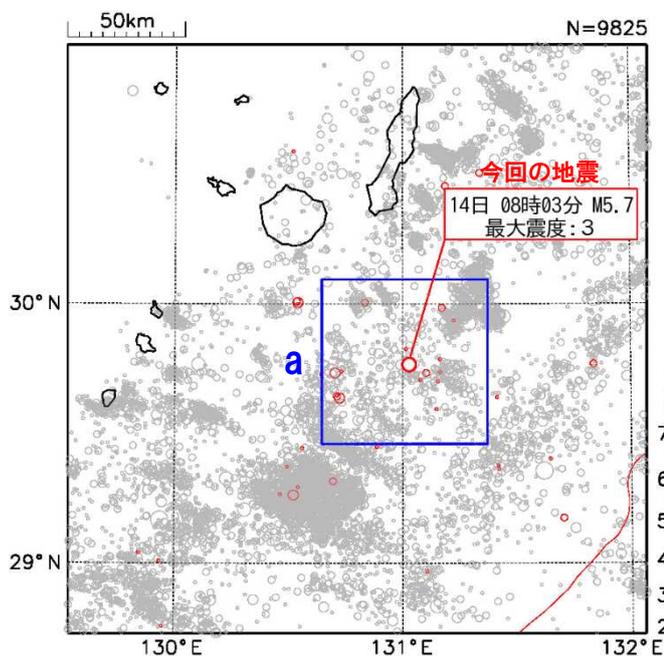


図 4 震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日、  
深さ 0～100km M≥2.5)

※2024 年 9 月 1 日以降の地震を赤色で表示

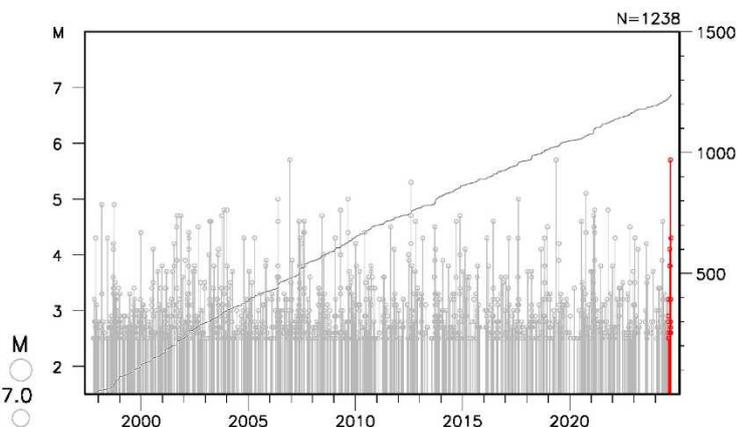


図 5 図 4 領域 a の地震活動経過図  
及び回数積算図

### 日向灘（1 頁震央分布図領域外）

16 日 23 時 13 分に日向灘で M5.3 の地震（深さ 22km）が発生し、宮崎県の宮崎市、日南市、鹿児島県の鹿屋市、大崎町で震度 3 を観測したほか、九州地方、四国地方で震度 2～1 を観測しました。佐賀県では、佐賀市、神埼市、白石町、みやき町で震度 1 を観測しました（図 6、表 1）。

今回の地震の震源付近（図 8 領域 b）では、2024 年 8 月 8 日に M7.1 の地震（深さ 31km、最大震度 6 弱）が発生し、佐賀県では佐賀市、神埼市、白石町で震度 4 を観測したほか、県内では震度 3～1 を観測しました（図 7～図 9）。

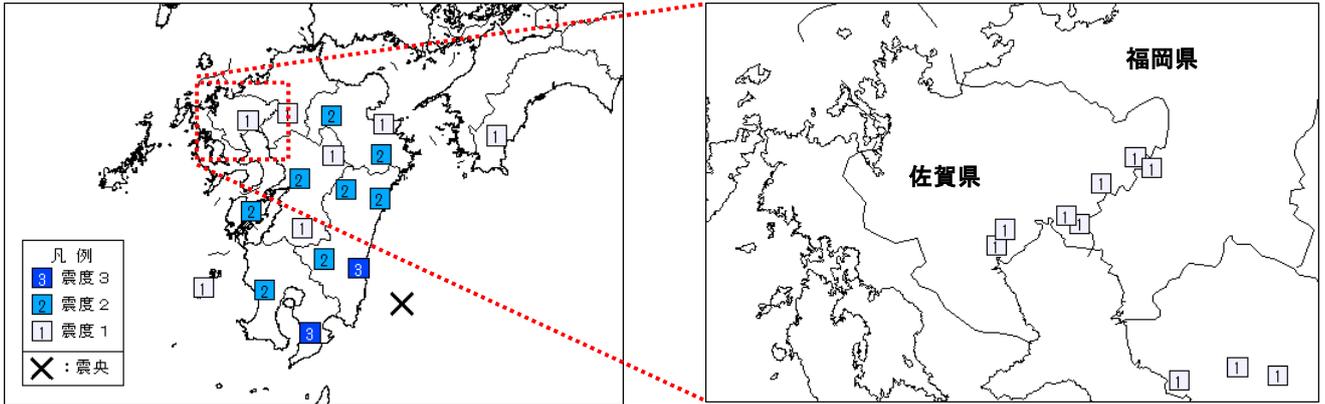


図 6 震度分布図 16 日 23 時 13 分 M5.3  
(左図は地域別、右図は観測点別)

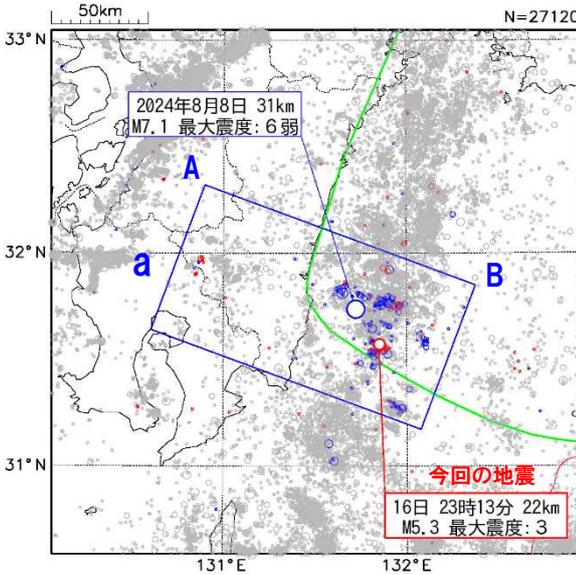


図 7 震央分布図  
(1977 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日  
深さ 0～100km M≥2.0)  
※2024 年 8 月 8 日以降の地震を青色で表示  
※2024 年 9 月 1 日以降の地震を赤色で表示  
※緑色の実線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

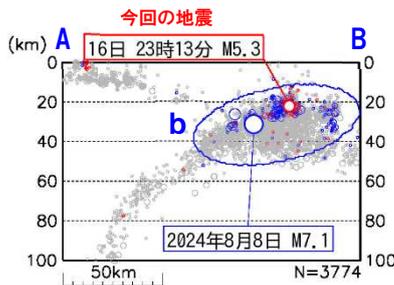


図 8 図 7 領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

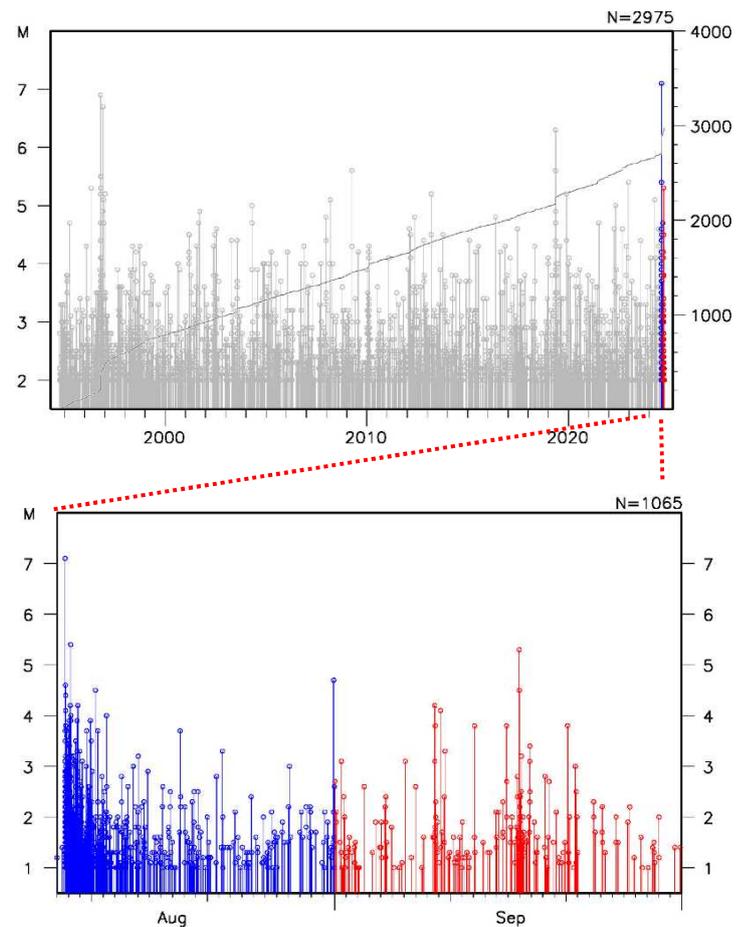


図 9 図 8 領域 b の地震活動経過図および回数積算図  
上段：1977 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日、M≥2.0  
下段：2024 年 8 月 8 日～2024 年 9 月 30 日、M≥1.0  
(下段は地震活動経過図のみ)

### 豊後水道（1頁震央分布図領域外）

20日21時22分に豊後水道でM4.7の地震（深さ41km）が発生し、愛媛県の宇和島市、八幡浜市で震度4を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方、近畿地方で震度3～1を観測しました。佐賀県では、神埼市、上峰町、みやき町で震度1を観測しました（図10、表1）。

今回の地震の震源付近（図12領域b）では、2024年4月17日にM6.6の地震（深さ39km、最大震度6弱）が発生し、佐賀県では佐賀市、神埼市などで震度3を観測したほか、広い範囲で震度2から1を観測しました（図11～図13）。

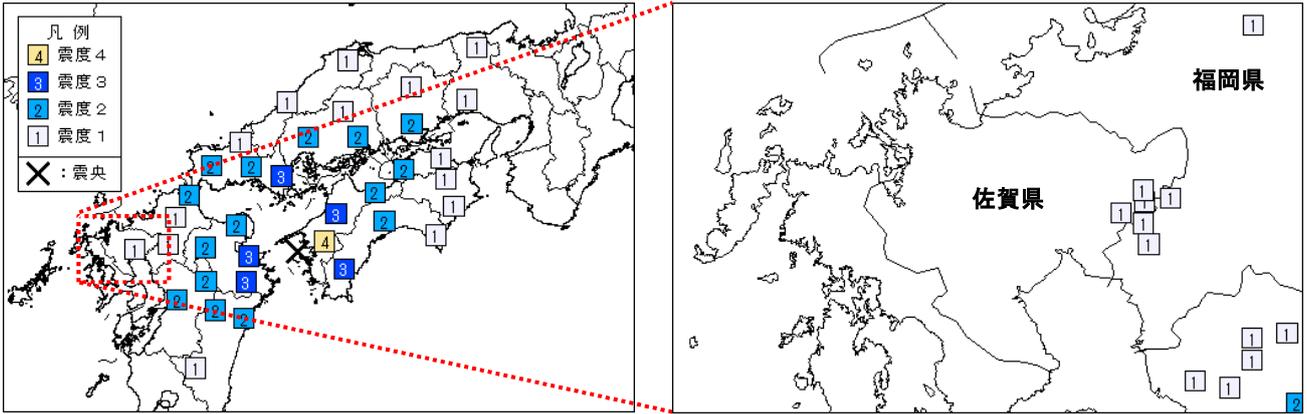


図10 震度分布図 20日21時22分 M4.7  
(左図は地域別、右図は観測点別)

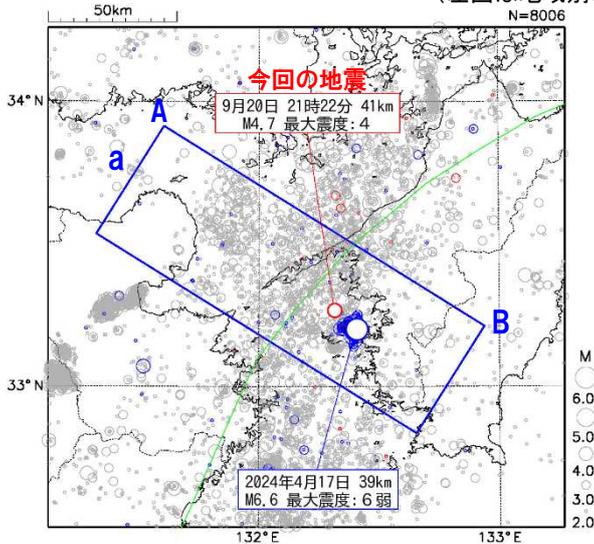


図11 震央分布図  
(1997年10月1日～2024年9月30日  
深さ0～100km M $\geq$ 2.0)  
※2024年4月17日以降の地震を青色で表示  
※2024年9月1日以降の地震を赤色で表示  
※緑色の実線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

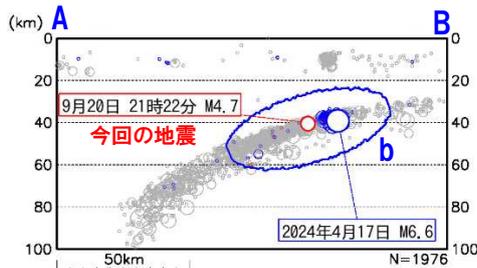


図12 図11領域a内の断面図 (A-B投影)

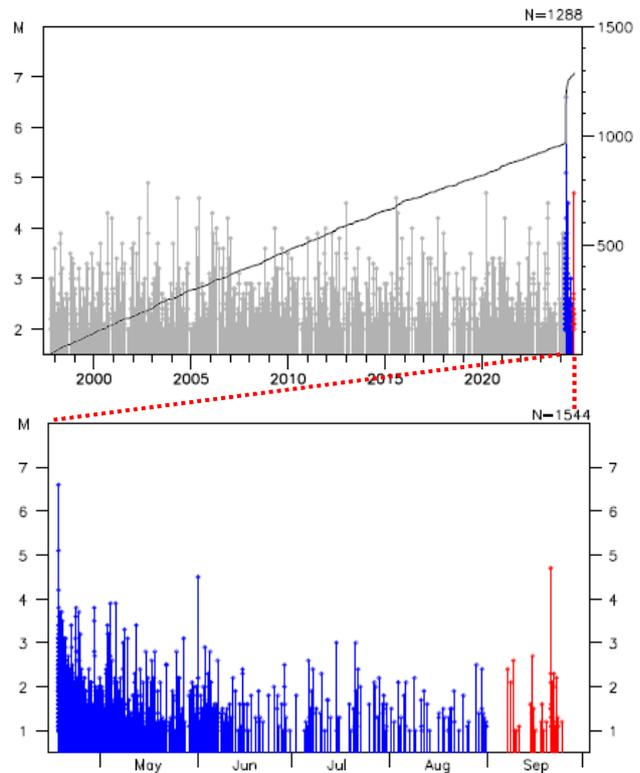


図13 図12領域bの地震活動経過図および回数積算図  
上段：1997年10月1日～2024年9月30日、M $\geq$ 2.0  
下段：2024年4月17日～2024年9月30日、M $\geq$ 1.0  
(下段は地震活動経過図のみ)

### 熊本県熊本地方

26日20時35分に熊本県熊本地方でM3.8の地震(深さ13km)が発生し、熊本県の熊本市、宇土市などで震度3を観測したほか、九州地方で震度2~1を観測しました。佐賀県では、佐賀市で震度1を観測しました(図14、表1)。

今回の地震の震源付近(図15領域a)では、「平成28年(2016)熊本地震」が発生しています。この領域では、2024年5月31日にM4.7の地震(深さ13km、最大震度4)が発生し、佐賀県では佐賀市、小城市などで震度2を観測したほか、県南部を中心に震度1を観測しました(図15~図16)。

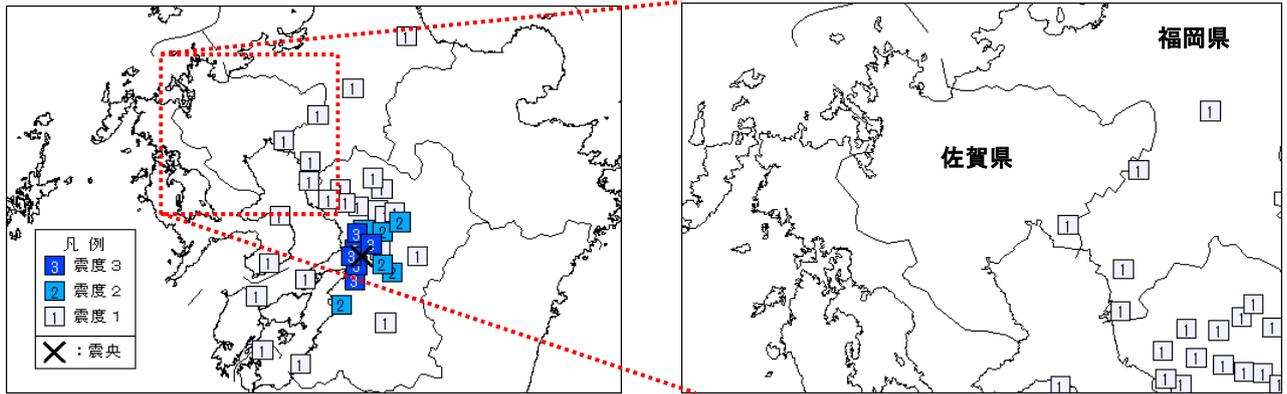


図14 震度分布図 26日20時35分 M3.8  
(左図は市区町村別、右図は観測点別)

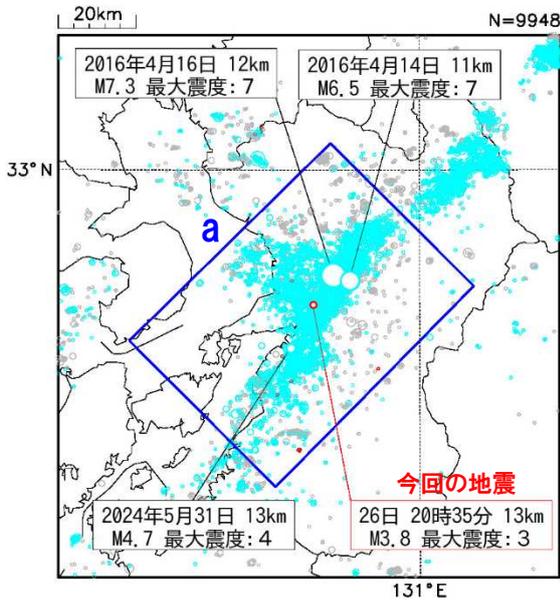


図15 震央分布図  
(2000年10月1日~2024年9月30日  
深さ0~20km M≥2.0)  
※2016年4月14日以降の地震を水色で表示  
※2024年9月1日以降の地震を赤色で表示

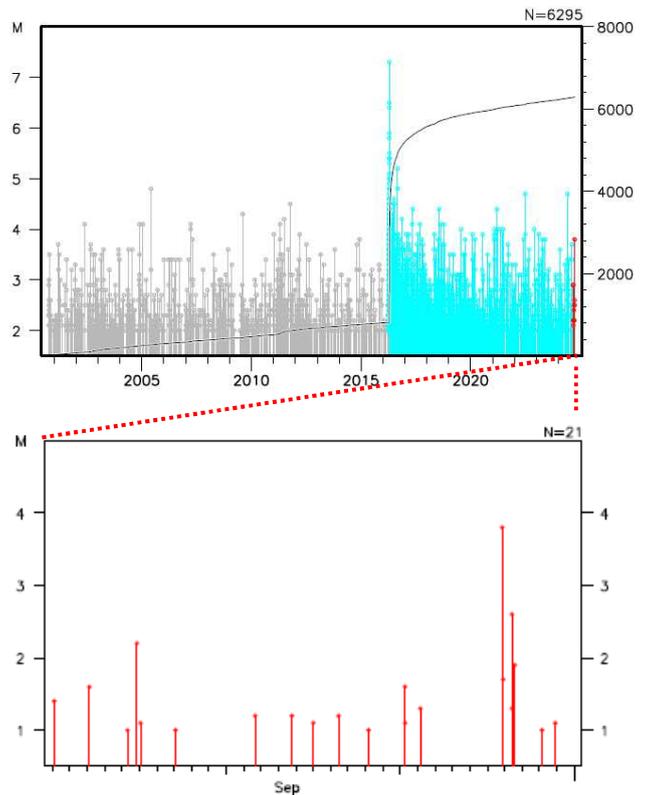


図16 図15領域fの地震活動経過図および回数積算図  
上段: 2000年10月1日~2024年9月30日、M≥2.0  
下段: 2024年9月1日~2024年9月30日、M≥1.0  
(下段は地震活動経過図のみ)

表 1 佐賀県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震 (2024 年 9 月 1 日～30 日)

地震発生日時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2024 年 09 月 14 日 08 時 03 分 佐賀県	種子島南東沖 震度 1 : 上峰町坊所*	29° 46.0' N	131° 01.6' E	52km	M5.7
2024 年 09 月 16 日 23 時 13 分 佐賀県	日向灘 震度 1 : 佐賀市東与賀*, 佐賀市川副*, 白石町福田*, 白石町有明*, みやき町北茂安 神崎市千代田*	31° 34.4' N	131° 51.0' E	22km	M5.3
2024 年 09 月 20 日 21 時 22 分 佐賀県	豊後水道 震度 1 : 上峰町坊所*, みやき町三根*, 神崎市千代田*	33° 16.0' N	132° 18.9' E	41km	M4.7
2024 年 09 月 26 日 20 時 35 分 佐賀県	熊本県熊本地方 震度 1 : 佐賀市川副*	32° 41.1' N	130° 42.5' E	13km	M3.8

- ・「\*」の付いた地点は、佐賀県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素 (緯度・経度・深さ・M) は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

## 11月5日は緊急地震速報の訓練に参加しましょう！

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。

気象庁では、11月5日（火）に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間がごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してみましょう。

また、普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう！

### ▶ 訓練実施日時

令和6年11月5日（火） 10時00分頃

国の機関や地方公共団体（全国瞬時警報システム「Jアラート」経由）、民間の緊急地震速報を提供する配信事業者のうち、訓練への参加を計画している機関や団体に対して、訓練用の緊急地震速報を配信します。

※ 訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール（エリアメール）には流れません。（一部のコミュニティFM等を除く）

### ▶ 訓練への参加方法

- ◇ お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。自治体からのお知らせ、気象庁のホームページ等でご確認ください。
- ◇ 気象庁ホームページで公開している訓練用動画や、スマートフォンの訓練用アプリを使ってみましょう。
- ◇ 緊急地震速報を受信する端末をお持ちの方は、訓練用の緊急地震速報や受信端末に備わる訓練機能を利用してみましょう。

### 緊急地震速報を聞いたら、どうすればいいの？

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



頭を守って、安全な場所に避難！



危ない場所から離れて！



お店では、あわてず  
係員の指示に従って！

詳しくは気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eeew/data/nc/kunren/2024/kunren.html>

緊急地震速報 訓練

